



東北大学

平成24年2月9日

報道機関 各位

東北大学大学院理学研究科・理学部

「東北大学理学部開講100周年記念公開シンポジウム」のご案内
－3月15日（木）9：20～19：30 於：せんだいメディアテーク－

東北大学理学部の前身である東北帝国大学理科大学が最初の学生を迎え入れ、講義を開始して以来、昨年9月をもって100周年を迎えることになりました。

東北大学理学研究科では「ヤングブレインズ（若き頭脳集団）の連携による学際的研究の創出・創生・創造・展開」を目標に、教育研究活動の一環として異分野間の交流を図るために2007年度から開催してきた6専攻（数学・物理学・天文学・地球物理学・化学・地学）合同によるシンポジウムをこのたび100周年記念行事の一環として公開いたします。

また、第2部では、次世代を担うヤングブレインズとして、高校生の研究発表も予定しております。

市民や高校生等多数の皆様にご参加いただけますよう、記事及びイベントコーナー等への掲載について、特段のご配慮をよろしくお願い申し上げます。

記

- 催事名 東北大学理学部開講100周年記念公開シンポジウム
「100+1=∞、未来をつくるサイエンス」（3部構成）
・第1部 大学院生による研究成果発表会
・第2部 杜の都でサイエンス
・第3部 杜の都のザ・サイエンスカフェ
- 日時 平成24年3月15日（木）9時20分から19時30分
- 会場 せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
（〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1）
- 入場料 無料
- 定員 150名（事前申込必要）
- その他 駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。
地下鉄「乞当台公園駅」から徒歩約6分
JR「仙台駅」から徒歩約20分、タクシー約7分

（お問い合わせ先）

東北大学大学院理学研究科・理学部

数学専攻 小菌 英雄

電話番号：022-795-5773

事務部総務課 阿部 文洋

電話番号：022-795-6346



東北大学理学部開講100周年記念公開シンポジウム

100 + 1 = ∞

未来をつくるサイエンス

2012年3月15日(木)

せんだいメディアテーク

9:10 開場

▲ <http://www.smt.jp/> ▲ 1階 オープンスクエア

プログラム

9:20-13:45

第1部 大学院生による研究成果発表会
ヤングブレインズの連携による学際的研究の新展開

対象：大学生以上

14:00-16:30

第2部 杜の都でサイエンス
ヤングブレインズが語るサイエンスの楽しみ
※高校生の発表もあり

対象：高校生以上

17:00-19:30

第3部 杜の都のザ・サイエンスカフェ

全体講演(各20分)

「準結晶(2011年ノーベル化学賞)ってなに?」

蔡安邦 教授(東北大学 多元物質科学研究所)

「はやぶさの贈り物 一太陽系の惑星はどのように誕生したのか」

中村智樹 教授(東北大学大学院 理学研究科)

「理学のものがたり(ザ・サイエンスカフェ)」(各テーブル別に1時間)

「数式で解く模様の対称と非対称」 赤間陽二 准教授(東北大学大学院 理学研究科)

「魚のヒレ=恐竜の足=トリの翼、みんな同じもの」 田村宏治 教授(東北大学大学院 理学研究科)

「宇宙で素粒子フォークから物質が作られる不思議」 田村裕和 教授(東北大学大学院 理学研究科)

「食虫植物と眠る植物-不思議な生物現象の化学-」 上田実 教授(東北大学大学院 理学研究科)

対象：高校・一般



申込方法

座席数が限られておりますので、事前にホームページにて参加登録をお願い致します。参加登録、シンポジウムの詳細も下記の東北大学理学部ホームページをご覧ください。

申込締切:2月29日

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/>

100 + = ∞ 未 来 を つ く る サ イ エ ン ス

公開シンポジウムについて(参加無料)

平成23年度は東北大学理学部が開講して100年に当たります。これを記念して市民に向けた100周年記念公開シンポジウムを開催します。東日本大震災からも立ち上がり、元気に活躍している大学のブレインを市民に紹介する場でもあります。

第1部 大学院生による研究成果発表会

理学研究科大学院生の研究発表の場です。異なる専攻の人たちにも分かるように、大学院生が研究内容を分かりやすくして、口頭とポスターで発表します。軽食をとりながらポスターでの議論にも参加して下さい。

第2部 杜の都でサイエンス

ヤングブレインズ(大学院生)が、高校生や市民向けにサイエンスの楽しみを発信します。3名のヤングブレインズに続き、未来のヤングブレインズ(高校生:東北大学「科学者の卵養成講座」受講生)が登場します。併せて高校生による研究ポスター発表の場も設けます(発表高校生募集中:2月29日メ切り)。

第3部 杜の都のザ・サイエンスカフェ

20年ほど昔にフランスやイギリスで始まったサイエンスカフェでは、数名の話題提供者が招かれ数分の自己紹介が行われた後、休憩時間をいれずにディスカッションに入りました。このザ・サイエンスカフェのために、東北大学の理学研究の中で話題になっている6つのテーマを選びました。最初に、2人の先生に20分ずつ研究のエッセンスを講演していただきます。その後、4つのテーマを加え、6つの小グループに分かれて議論の輪を広げていただきます。第一線の研究者と直接対話ができる貴重な時間です。

講 師 紹 介



「準結晶」 (2011年ノーベル化学賞) ってなに?

蔡安邦 (東北大学・多元物質科学研究所・教授)

2011年のノーベル化学賞は、イスラエル工科大学のダン・シェヒトマン博士に贈られました。受賞理由は「準結晶の発見」であり、これは高温超電導とならぶ20世紀後半の2大発見です。準結晶の発見は、物質構造に新しいパラダイムをもたらしたと同時に、「秩序」とは何か?という問いかけでもあります。本講演では、準結晶とは何かをご紹介しますとともに、そもそも秩序とは何か?を皆さんと一緒に考えたいと思います。



「はやぶさの贈り物 —太陽系の惑星は どのように誕生したのか—」

中村智樹 (東北大学大学院・理学研究科・教授)

我々の太陽系は、いつどのように誕生したのか?それを調べるためには、太陽系が誕生した当時の姿を残している小惑星や彗星などの小天体から、物質を手に入れなければなりません。探査機「はやぶさ」が世界で初めて持ち帰った小惑星の微粒子を分析した結果、小惑星が太陽系の生い立ちを記録していることや、その小惑星の生涯がわかりました。本講演では、その研究結果をご報告します。皆さんのおもしろい探査計画のアイデアなども、ぜひ聞かせてください。